

492-1989-18

登山 小いきぢ

びっしりと期待 のコウシンソウ

◆足尾・皇海(すかい)山
▽6月30日▽7月2日▽静岡・三島勤労者山岳会▽岡崎
睦子(四七)、後藤隆徳(四三)、
田中裕吉(三九)、山口美恵子
(三八)、矢部幸雄(三)、相沢恵



静かな皇海山の頂上で

(二)

30日、19時半に車で出発。東名、環八、関越を通り、前橋で降り、足尾へ向かう。切道で左折し、銀山平を通り林道のゲート前で暮営。

1日、5時起床。曇ってはいるが、雨の心配はなさそう。朝食をとり6時出発。庚申川ぞいの林道を1時間で一ノ鳥居着。ここに「関東ふれあいの森」の看板がある。水たまりのミズナラなどの

霧が切れ、青空が広がる。尾根へ出ると、またOさんが叫ぶ。今度のコウシンソウは素晴らしい。尾根に突き出た大きな岩にびっしりと花をつけ、風にゆれている。盛りらしい。私たちがこの「天然記念物」をいつまでも興奮きみに観察した。

念物」をいつまでも興奮きみに観察した。10時5分、庚申山へ着く。この先に展望台があったが、皇海山(二一四四)は霧が半分かかっている。道はいつ

をとり、荷物を置いて小憩後、庚申山めざして出発する。道は大きな岩壁の間をぬろうようにゆく。途中「石門」「御胎内」などがある。私たちが期待のコウシンソウを探しながら歩く。

13時45分、大きな錫杖が見えたと待望の皇海山の頂上だ

突然セカンド

えると待望の皇海山の頂上だ

2日、7時出発。森のなかで今度はキツネを見る。七滝を見学したり、足尾温泉に入ったりしたあと、三島へ向かう。豊かな自然と手あかのついていない山に感動した山行だった。

(後藤隆徳)